

2006年度以降の VLBI共同利用観測について

2006/10/10

VERAユーザーズミーティング
水沢VERA観測所 小林秀行

VERA観測時間最終目標

- 月間500時間 x 11ヶ月(保守1ヶ月、6月)
 - 5, 500 時間/年(定常測地観測を除く)
 - プロジェクト観測 4, 000 時間
 - 共同利用 850 時間
 - その他 650 時間
- 一天体あたりの観測時間
 - 6時間x9回 = 50時間
- **年間 80天体のプロジェクト観測**
- **年間 17天体の共同利用**

2006年の観測時間見積もり

- 全観測時間の10-15%
 - 月間観測時間400時間×11ヶ月 = 4,400時間
 - 年間 400-600 時間
 - 年間 何時間オープンするか？

-> **400時間**

VERA, 野辺山、鹿島 100時間

VERA(鹿島) 300時間

共同利用の公募の開始(今日から)

- <http://veraserver.mtk.nao.ac.jp/restricted/index-e.html>
- 22GHz
- 2B、位相補償観測可能
- 全体 400時間
- 期間: 2007年1月ー12月
- VERA保守 6月 (7ー8月、昼間の観測の質はたいへん悪い)
- 野辺山・鹿島(100時間)
 - ー 野辺山は、3ー5月、 10ー12月(?)
 - ー 野辺山のプログラム小委員会との調整あり

審査の方法

- 審査は3名(星、星形成、AGN、銀河)
 - 今回は、日本人のみ
- 最終的にはプログラム小委員会で採択・時間の決定

プロテクト天体とデータプライオリティ

- プロジェクト観測の定義が必要
- データプライオリティ期間：
 - 相関処理後：18ヶ月

共同利用とプロジェクト観測の関係

- プロジェクト観測天体を明らかにして、天体・観測周波数にブロックをかけ、それ以外はフリーにする。
- 共同利用を行う前に提案したプロジェクトの観測天体リストにプロジェクト観測が縛られる。
- プロジェクトが観測天体リストの観測を実行する義務が発生する。

保護天体とプロジェクト観測天体 @22GHz

Target	RA	DEC
Sgr B2	17:47:20	-28:23:03
R UMa	10:44:38.40000	+68:46:37.0000
IRC +60169	06:34:34.88000	+60:56:33.1900
S Gem	07:43:02.50000	+23:26:57.0000
WX Psc	01:06:25.98860	+12:35:53.0373
Z Pup	07:32:38.06250	-20:39:29.2460
SY Scl	00:07:36.30000	-25:29:39.0000
S Crt	11:52:45.09810	-07:35:48.0720
WB724	05:58:13.53000	+16:31:58.9000
W44	18:53:18.76000	+01:14:59.5000
NGC 281	00:52:25.10000	+56:33:54.0000
CPM 37	22:16:10.4	+52:21:25
G14.33-0	18:16:0.80000	-16:49:6.0000
ON1	20:10:09.20000	+31:31:37.0000
ON2	20:21:00	+37:25:29
G34.3+0.2	18:53:18.67000	+01:14:58.5000
VY CMa	07:22:58.33150	-25:46:03.1740
PZ Cas	23:44:03.28190	+61:47:22.1820
Cep A	22:56:17.80000	+62:01:46.0000
NGC 7538	23:11:36.70000	+61:11:49.0000
RCW 142	17:50:14.45494	-28:54:29.1104
IRAS 06058	06:08:54.10000	+21:38:25.0000
IRAS 20231	20:25:07.00000	+34:50:06.0000
S269	06:14:37.07000	+13:49:36.0000
W49N	19:10:13.41500	+09:06:14.2900
OH43.8	19:11:54.27500	+09:35:55.3090
IRAS 00420	00:42:19.45173	+57:08:36.5860

網掛け：保護天体（ミラ型変光星のP-L関係）、それ以外はプロジェクト観測天体（プロポーザルを提案することは可能）

観測期間と募集時期

- 募集回数 1回
- 募集時期 野辺山にあわせて 9月 を検討
- 今期(2006)は、11月3日締め切り
- 観測期間 観測のスパンも併せて提案される。
 - プログラム小委員会で採択件数と期間の調整を行う。